

江別市生涯学習推進協議会 設立15周年

情報紙「ら・ら・ら」50号
 発行に喜んでいます

江別市生涯学習推進協議会

会長 谷川 幸雄



★本協議会設立15周年を迎えて

一九九二年、生涯学習審議会において「今後の社会の動向に対応した生涯学習の振興方策について」、一九九六年には「地域における生涯学習の充実方策について」、このように生涯学習に関する答申がだされ、生涯学習の時代に対応する体制が整い、地域住民の自主的、積極的な活動が求められてきました。

これに呼応して、江別市においても一九九五年(平成7年)3月、市内の各種団体82団体で組織した「江別市生涯学習推進協議会」を発足しました。

その目的は、「市民の主体性に基づいた学習活動を活発化」「市民一人一人の生涯にわたる学習要求に基づいた学習機会の提供」「市民の豊かな生

活と生きがいを高めていく」のまちづくりのために、実践活動を重ねていくというものでした。

この目的を達成するため、近年は、会員活動の発表会・交流会、講座、研修会等の実施、本会の事業改善等に関する加盟団体代表者会議、会員活動への支援、そして広報活動として、生涯学習情報紙「ら・ら・ら」の発行、ホームページの活用など行ってきました。今後も、15年の歴史を踏まえ、やりがいと生きがいのあるまちづくりに努めてまいります。



二代会長 安宅 嘉美 氏



初代会長 伊藤 貢 氏

★情報紙50号の発刊に思う

本協議会、発足して15周年を迎えましたが、人は15年前を正確に思い出せない、あるいは忘れられていることもあります。

私は、15年の歴史、そして50号の情報紙の発行に当たって、49号まで目を通すことができ、この15年の中に流れる歴史と先進的な改革、たゆまぬ実践に強く感動し、身のひきしまる思いをしております。そして、確かな歴史を刻むために発行してきた情報紙、今後の本協議会の充実・発展に大いに役立つと考えています。

振り返ってみましょう。

「えべつ生涯学習だより」の名称で発刊された創刊号が情報紙「ら・ら・ら」と名前を変えたのは第5号からです。第1回「えべつ老年の主張大会」ではみごと百一歳の新谷一二郎さんが優勝!!

第8号では第二代会長安宅嘉美会長のごあいさつ。

第12号では「アジアと日本を考える」生涯学習講座(5回シリーズ)の紹介。

第20号では「こころの時代を問う」第1回「生涯学習フォーラム」の紹介。

第30号では今も継続される「会員活動発表会・交流会」の報告。

第43号では「再発見!野幌森林公園」第45号では「石狩川と江別」第49号では「健康

な食生活と江別の「食」を考える」と「生涯学習リレー講座」の紹介。

また、会員のイベント情報や新会員の紹介。このように第50号までバトンが渡されつづけた事を大変うれしく思います。



H9年度生涯学習講座「食」星澤幸子先生を招いて



H13年度生涯学習フォーラム「こころの時代を問う」



H8年度生涯学習フェスティバルアイヌ文化伝承の舞台「モシリ」

日々楽しむ私の生涯学習

気になる場所 その一

莊司 和子



入を戴いた。銀製器に銀製スプーンが添えられていた。美味しい!!昭和三十年のことである。今、お世話になった五十四年前を思い、ハルニレの木、キング式牛舎を見上げる。前庭の像に深く頭を下げた。今日はお命日である。(21・8・14記)

家族みんなで熱い夏

久津間 久美子



やったー!全道大会に優勝しました。スタルヒン球場にて(21年7月30日)

今、私は男の子二人の子育て真っ最中です。

「育児は育児」という言葉に

感心する事も多く、つい自分の感情で叱つては反省……という日々です。その中でも子ども達は育ってくれて、長男海都と次男敬人は少年野球、三男の陸斗は水泳とそれぞれ頑張っています。

今年六年生の長男は、石狩支部代表チームの野幌ファイターズの一員として勝ち、全道大会まで進んだのが三大会、そのうちの二つの大会ではベスト4になり、あとひとつの大会ではなんと全道制覇!!全国出場を果たしました。プロ野球で見ていた札幌ドームや旭川スタルヒン球場での試合をする事もでき、その度に家族皆で応援し、こんな熱い夏を皆で過ごしました。指導者の方、仲間達、支えてくれた人達のおかげでここまでできた事に感謝の気持ちを忘れないでいてほしいです。

私も息子達や応援してくれた皆様にも感謝の気持ちでいっぱいです。この夏の熱いできごとで、自分ひとりでは経験できない多くの事を親子共々学ぶことができました。

子ども達へありがとう、皆様、ごつもありがとございました。

「江別市青少年サークルと私」

江別市青少年サークル

会長 高橋 美奈(大学一年)

私は江別市青少年サークルという会の会長をしています。このサークルは、青少年キャンプ村「まがり王国」の生活指導員をはじめ、小中学生を対象としたクリスマス会や遠足などの行事を開催し、子ども達と遊び、関わる団体です。会員は高校生から大学、専門学校生までの学生で構成される団体なのですが、私とこのサークルの結び付きは、私が小学生の頃まで遡ります。

私が初めてサークルを知ったのは小学5年のときでした。当時は物事に対しやや内向的な性格だったので、サークルのお兄さんお姉さんが光り輝いて見えました。とても楽しく、それから中学生になっても行事に参加していました。

このように行事に参加していた子ども頃、行事を企画運営する現在、OBとなつてサークルを支えて行くであろうこれから。私は生涯、このサークルと関わるでしょう。子どもの頃も現在も、掛け替えのないたくさんのご縁のサークルから学んでいます。

江別市青少年サークル40周年事業「グリーン・グリーンキャンプ」(H20年度に実施)



グリーン・グリーンキャンプの事前説明会のようす



キャンプで食べるカレーの具材をすべて自分達で育てるために、たまねぎの植え方を指導しているところ(5月)

中学生英語暗唱コンテスト
江別市民国際交流協会
通訳翻訳サークル 太田 佳美

市民レベルの国際交流活動を行っているボランティア団体である「江別市民国際交流協会」では、会の創設翌年の一九九四年から中学生の英語暗唱コンテストを実施してきました。子ども達が英語の学習を通して国際交流に興味をもってくれることを期して、個人で参加できるコンテストでした。

思い 四年遅れて、原稿から自分で書く高校生の英語スピーチコンテストも併せて開催しました。このコンテストは十年間続けましたが、英語教育の現場や環境も変わり二〇〇三年で一旦終了いたしました。担当者はポスター作りから、テープでの予選、審査員の選択、賞状の作成、コンテスト後の懇親会など学生さんを第一に考えて忙しくも楽しい作業を行っていました。緊張して、せつかく覚えた英語を忘れてしまった学生がパーティーでは審査員の先生と楽しくおしゃべりしていた明るく笑顔が忘れられません。学

生たちの英語力、特に発音は年々進化していて頼もしい限りです。



これからの時代は英語。参加者は充実感に満ちて。(9年前)

老人パワー全開！
ロスナランホスコンサート
園部 真幸(教育委員会職員)

生涯学習課へ異動になった2000年4月、前任者から引継ぎの時に「キューバの老人バンドのコンサートをやると聞いて胸が躍った。少し前に、シアター・キノでウィム・ヴェンダース監督のドキュメンタリー映画『ブエナ

ビスタ・ソシアルクラブ』を見て感動したばかりだったからだ。ええっ、あのバンドが来るの?!

映画とは違うバンドだったが、サルサブームも手伝ってチケット450枚はあっという間に売り切れ。平均年齢80歳以上とはとても思えないパワフルなステージで、のっけから会場はソンの軽快なリズムに包まれた。後半は客席をダンスの渦に巻き込み、まさに老人パワー全開のコンサートだった。

この催しは、「日本におけるキューバ年」の一環として企画され、江別での開催は江別市民国際交流協会の全面的な協力で実現した。私にとっても企画や運営を通じて、多くの未知の人々との出会いがあり貴重な体験となった。

このメンバーには後日談がある。お土産を山のように買い込み、JALのカウンターが機能マヒに陥ったこと、ダンサーの一人はダンスレッスンでたんまり稼ぎ、すつかり気を良くして日本を離れたところが、途中立ち寄ったメキシコでパスポートとお金を盗まれ、一人取り残されたこと等々である。



伝統的なキューバ音楽ソンの、ボーカルは86才と81才の元気なおじいちゃん

あれから十年、元気で
金子 桂次郎



えべつ 老年の主張大会に縁あつて参加させ

ていただいでから十年が過ぎました。その間、私は病気がしい病気もせずに来ました。ただ慢性的な喘息を持つており、それは遺伝的なものと諦めて上手に付き合つて現在は、いたつて元気に生活をしております。

江別に来て、友人の勧めもあり公民館の孔版サークルに入り、現在も同好会に所属し

ております。その後俳句にも興味を持ち、江別俳句会に入会しましたが元来私は、無器用で上達は遅いが途中やめる事が嫌いなせいか、孔版、俳句共に今も継続しており、少しでも良い作品をと頑張っております。

八月三十日に旧制室工の最後の級会を登別温泉で行うとの連絡を受けたが、丁度その当日「石狩管内文芸部門交流大会」が野幌公民館で開催され、私は実行委員になつていたので級会に行ける状態ではなかつたが、最後の級会なので是非参加したいと思い、閉会片付け後、四時十五分の急行列車に乗り何とか記念写真撮影に間に合い、その後ゆつくり旧交を温めた。十二名の参加者は皆元気であつたが、半数位の友は膝痛に悩んでいた。

私は健康維持のため朝三十分のウォーキングを行つてゐる。無理をせず、他に行動計画のある時はあつさり中止することになっている。

何事にも少し上に目標を置き、知識や元気を吸収するよう心掛け、ボランティアには進んで参加するようにしている。それには健康であることが基本と考えております。

江別市家庭問題研究会

公開講座のご案内

楽しい会話をしていますか?～人生を楽しむコーチング～

コーチングって?人と関わるときのコミュニケーションの技術!

日時 10月17日(土)午後1時30分～3時

講師 山谷敬三郎氏(北翔大学生涯学習システム学部教授)

場所 大麻公民館研修室2号 (参加費無料・当日参加可)

申し込み 子育てテレホン 384-7005 10時～12時

ヤングテレホン 383-8009 13時～17時

野幌商店街振興組合

楽しいイベントご案内

「ハッピーハロウィーン」

場所 野幌商店街の参加店
(皆様のご参加おまちしています!)

日時 10月31日(土)10時から3時

★仮装コンテスト★店舗ディスプレイコンテスト

★「ハロウィーンカボチャ」絵の展示

★カボチャコンテスト

問合せ先 カフェレスト・ジタン(梶野) 383-9616



会員活動イベント情報

加盟団体の行事紹介・お知らせコーナーです。
参加交流の輪が広がる事をきたいしています。

江別手をつなぐ育成会

《講演会》

日時 10月22日(木)10時～12時

会場 江別市民会館37号室

演題 「自閉症・発達障がい」について考える

講師 加藤 潔氏

参加費 無料

問合せ先 東 386-3510

劇団剛剛

《紙屋悦子の青春》

日時 11月28日(土)～29日(日)

会場 アートスペース外輪船

問合せ 村本(382-0334)

財団法人江別市スポーツ振興財団

《小学生ドッジボール大会》

日時 11月3日(火)9時～

会場 市民体育館

概要 10月1～15日申し込み受付
生涯学習課青少年係
(381-1069)

《クロスカントリースキー・

歩くスキー講習会》

日時 12月23日(水)9時～12時

会場 飛鳥山公園

概要 12月2日申込開始。

定員 50名 受講料 1,200円

おはなしなあに

日時 12月18日(金)10時30分

会場 大麻公民館研修室2号

内容 ジングルベルのボードビル。サンタクロースも登場!
年に一度のプレゼントも!

野幌商店街振興組合

《野幌商店街 クリスマスウィンドー ディスプレイコンテスト》

日時 12月上旬～12月25日

会場 野幌商店街実施参加店

概要 各店でクリスマスディスプレイ。お客様に人気投票を。その方の中から抽選で豪華景品進呈。その他お楽しみ盛りだくさん!

生涯学習推進協議会主催事業 会員活動発表会

会員相互の交流を深めるとともに広く市民の皆様に加盟団体の活動をPRし、生涯学習の推進を図ることを目的に、今年度も会員活動発表会を開催します。

皆さん、この機会にぜひ各団体の活動を「見て・知って・感じて」ください。

日時 平成21年10月24日(土)

午後1時～5時

会場 市民会館小ホール

内容 舞台・展示発表、茶話会 参加無料



四大学連携まちづくり市民大学 ふるさと江別塾

大学の「知」を生かし、まちづくりのための学習の機会として「ふるさと江別塾」を開講します。テーマは「江別学をめぐって(受講無料)」

第1回 10月17日(土)9時10分～12時40分

第2回 10月24日(土)9時30分～12時40分

第3回 10月31日(土)9時30分～12時40分

第4回 11月14日(土)9時30分～13時

北翔大学・同短期大学部

酪農学園大学・同短期大学部

札幌学院大学

北海道情報大学

申込・詳細 生涯学習課まで

電話 381-1062

FAX 382-1062

382-1062

382-1062



おとがき

あつという間の秋風です。50号という節目の号、懐かしい名前やできごとが紙面に踊っています。皆様のご協力でこまで来ました。伝えたい情報の橋渡しが出来ますように今後ともよろしくお願ひ致します。



(松山和子)